

# ELECTRO 35 *GS*

ヤシカエレクトロ35GSの使い方



# YASHICA



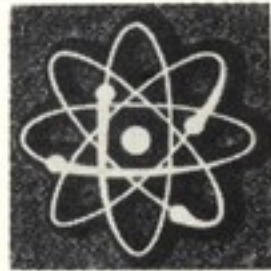
パリの映画館 エレクトロ35 自動撮影

## 各部の名称



## 性能表

◎電子シャッターカメラ	35ミリサイズ (24×36mm)
大口径レンズ	カラーヤシノンDX 45mm F1.7 4群6枚構成
電子シャッター	電子シャッター コバルエレク(LT30秒~1/500秒) トランジスターとコンデンサー内蔵 セルフタイマー付 AUTO B(バルブ) $\surd$ (フラッシュ)指標付
測光方式	電子シャッターとの組み合わせによる絞り優先EE 受光部に高性能CdS使用 ライトマーク3点付 絞り目盛(F1.7~16)
露出表示	ファインダー内とボディ上部に露出表示ランプ内蔵(シャッターボタン兼用チェック方式) 赤矢印のランプがつけば明るすぎ(露出過度)の警告 黄矢印のランプがつけばスローシャッターで切れる表示 測定範囲EV 1~EV17)
ファインダー	一眼式距離計連動(倍率 0.65倍) 動くブライトフレーム付(パララックス自動匡正) ファインダー内露出指示 赤・黄マジックランプ内蔵
ピント合わせ	直進ヘリコイド 二重像合致式距離調節 距離目盛(0.8~∞メートル 2.6~∞フィート)
フィルム送り	レバー式一作動巻上げ(180度) セルフコッキング ヤシカ イージーロードシステム(フィルム差し込み) 自動復元 順算式フィルム枚数計 クランク式フィルム巻戻し
フラッシュ	X接点回路内蔵 ストロボ フラッシュガンに同調可能 (AUTOを解除すると1/30秒に自動セット)
その他	◎電源チェックランプ内蔵(フィルムカウンター窓にグリーンのランプがつけば電池はOK) ◎ASA DIN換算板付 ◎電源 水銀電池5.6V使用 ◎ASA感度表示盤付(ASA25~1000) ◎シャッターロック装置付 裏蓋開閉式(巻戻しノブ引上げ式) ◎アクセサリースュー付 ◎フィルター口径 ネジ込み 55φ ◎フード口径 カブセ 57φ
寸法重量	140×84×73.5mm 750g
◎使用電池は水銀電池	5.6V ナショナルHM-4N



エレクトロ35は、ヤシカが世界にさきがけて、光学の分野にエレクトロニクスを導入した、記念すべきカメラです。

それまでのカメラの概念をすっかり変えた電子シャッター機構の働きで、ローソク1本の光りでも、自動的にすばらしいカラー写真が得られるため、撮影の領域は飛躍的にひろがりました。

あらかじめシャッター速度を決めて撮影する、従来のカメラと違って、つねに撮影時の明るさに応じ、必要なだけ光をカメラ自体がとり入れてくれる便利な機構です。シャッター速度は無段階、 $\frac{1}{500}$ 秒から30秒のロングタイムまで、あらゆる速度が可能ですからこれ以上正確な露出はありません。

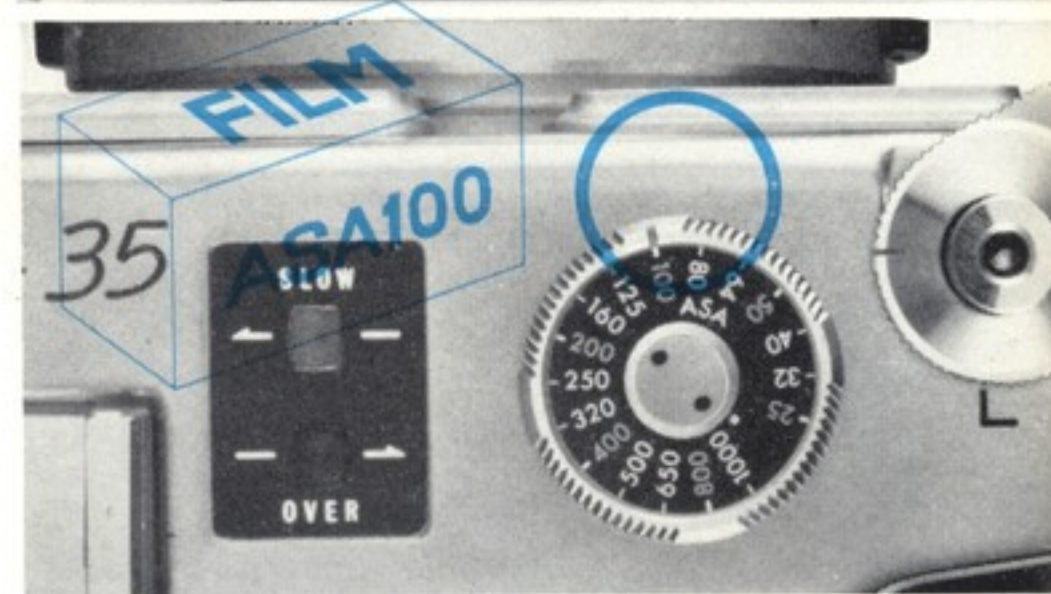
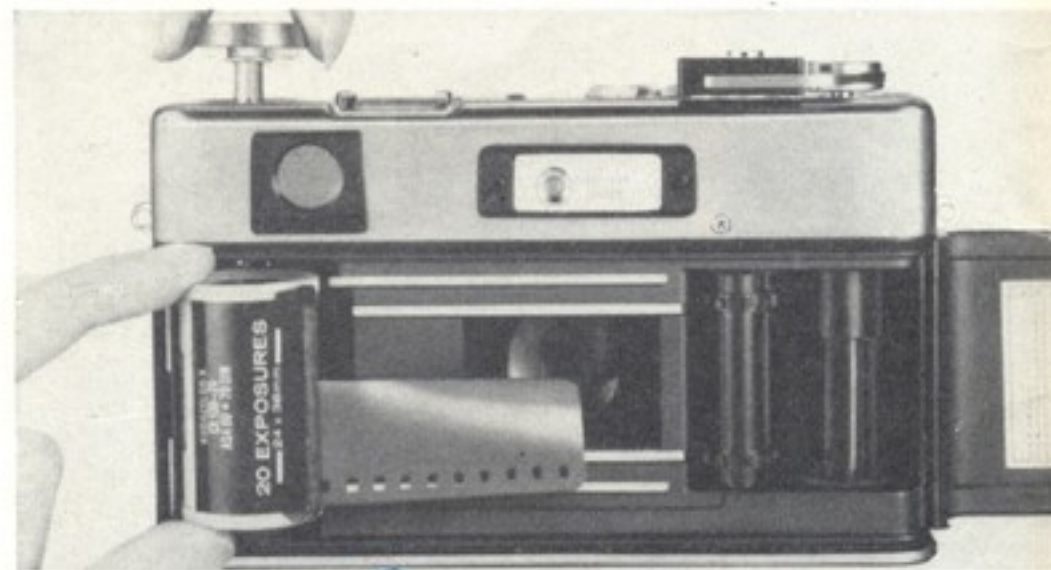
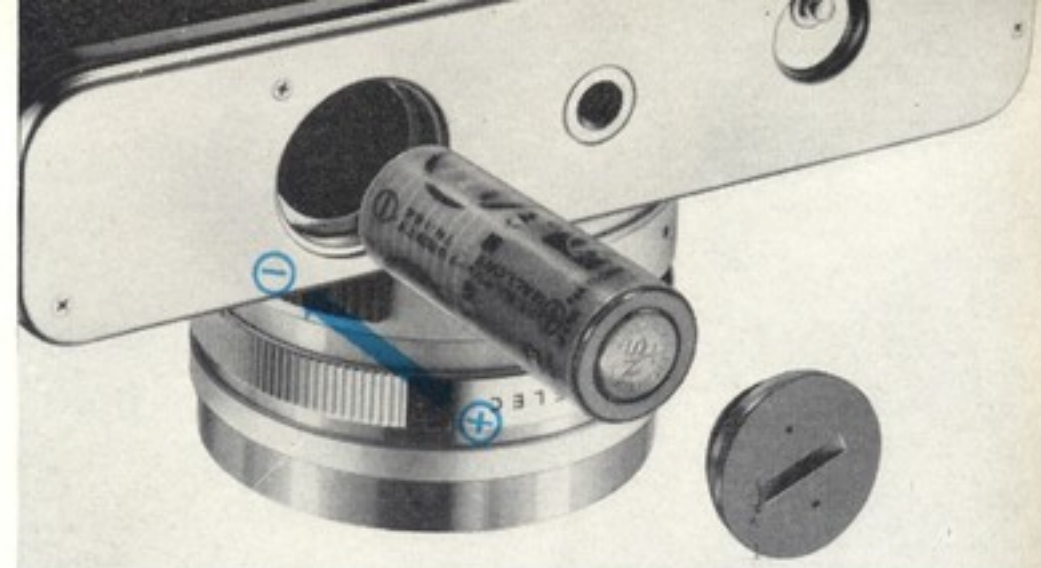
過去数年にわたって、常に人気のトップを維持し、ベストセラーをつづけているのも、この卓越した電子シャッター機構によるものです。

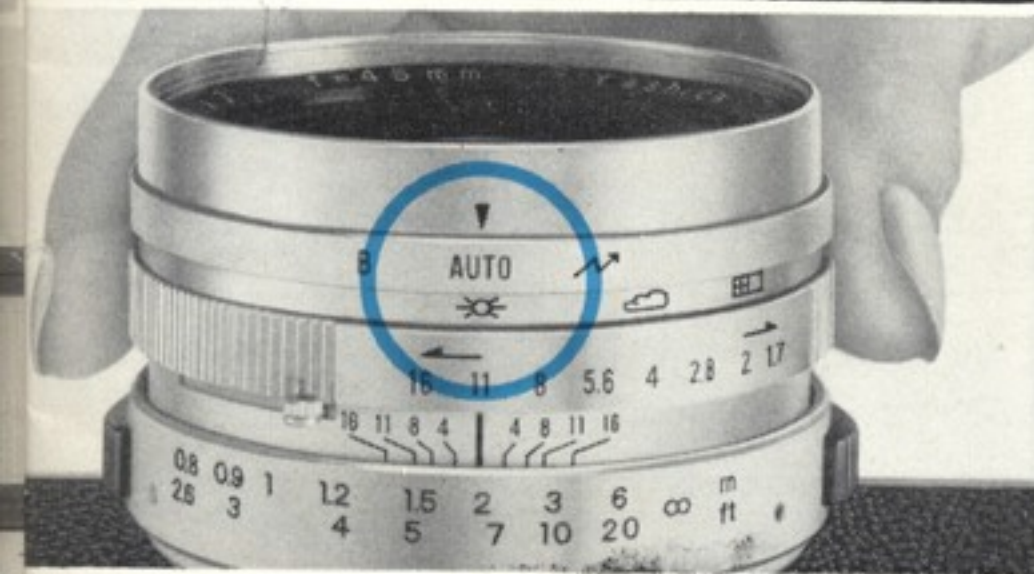
ヤシカエレクトロ35のすばらしい性能を、十分ご活用の上、末長くご愛用ください。

## 基本の操作

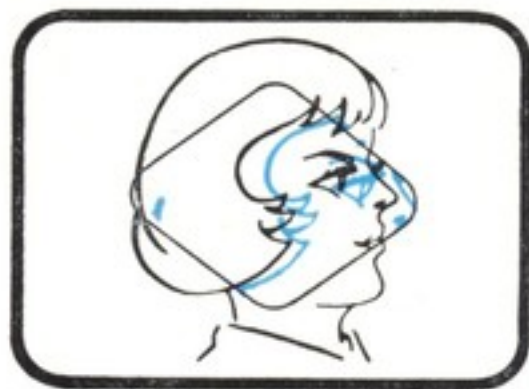
これだけの操作で、カラーも自動的にとれます。

1. 水銀電池を入れてください。
2. 裏蓋を開けてフィルムを入れます。
3. フィルムのASA感度をASAダイヤルにセットします。





4. ▼印にAUTOを合わせます。
5. 絞りリングのお天気マークをセットします。
6. ファインダー内でピントを合わせて、シャッターをきります。



ピントが合っていないとき



ピントが合っているとき

※オートリングが動かないように注意してください。

## 電池の入れ方

1. 硬貨をつかって、カメラ底部のバッテリー室カバーを矢印方向に回してはずし、
2. 水銀電池を入れます。このとき、 $\oplus$  $\ominus$ を図解どおり正しく入れてください。間違えると、ランプはつきません。シャッターも正しく作動しません。電源には、水銀電池5.6V（ナショナルHM-4N）を使ってください。





## 電池のチェック

電池が消耗したかどうかは、バッテリーチェッカーでしらべます。ボタンをいっぱいにして、フィルム枚数計の窓にグリーンランプがつけばOKです。撮影前には必ずチェックし、ランプがつかないときは電池を交換してください。

## 水銀電池について注意すること

- 長期の旅行などでは、予備の電池を準備しましょう。
- 長期間カメラを使用しないときは、水銀電池をカメラから取り出しておいてください。長持ちします。
- 海外で水銀電池をお求めのときは、マロリー TR 164・5.6V または エバレディ E164・5.6V とご指定ください。
- 水銀電池の寿命は、普通の使い方では約1年半、長時間露出をひんぱんにおこなうなど、特殊の使い方をするときには、のべ露出時間約2時間が一応の目安です。



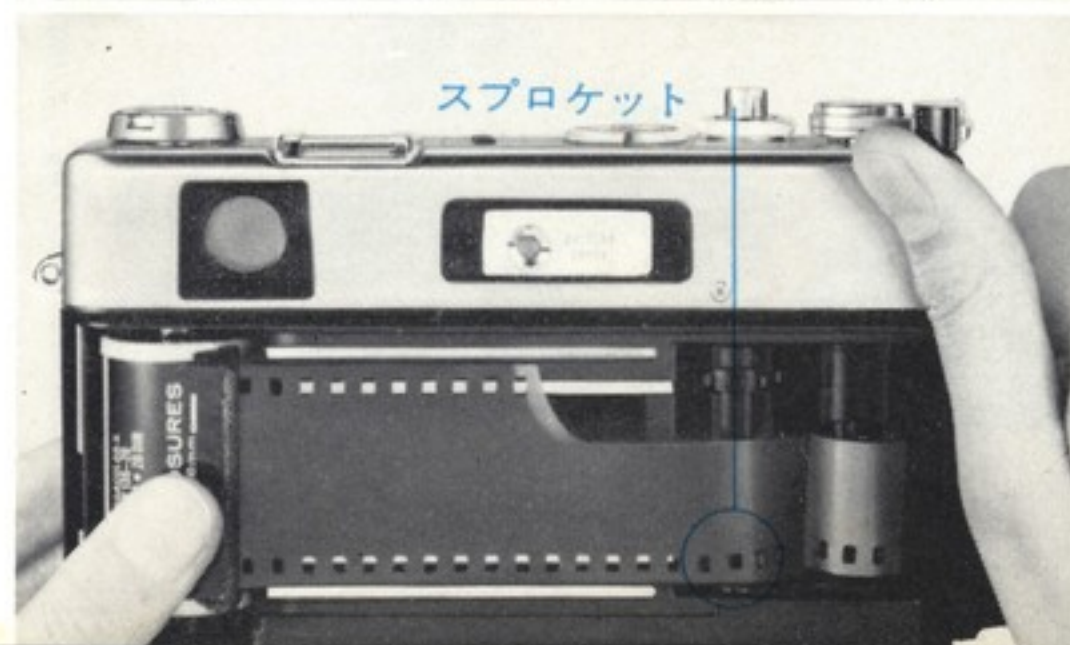
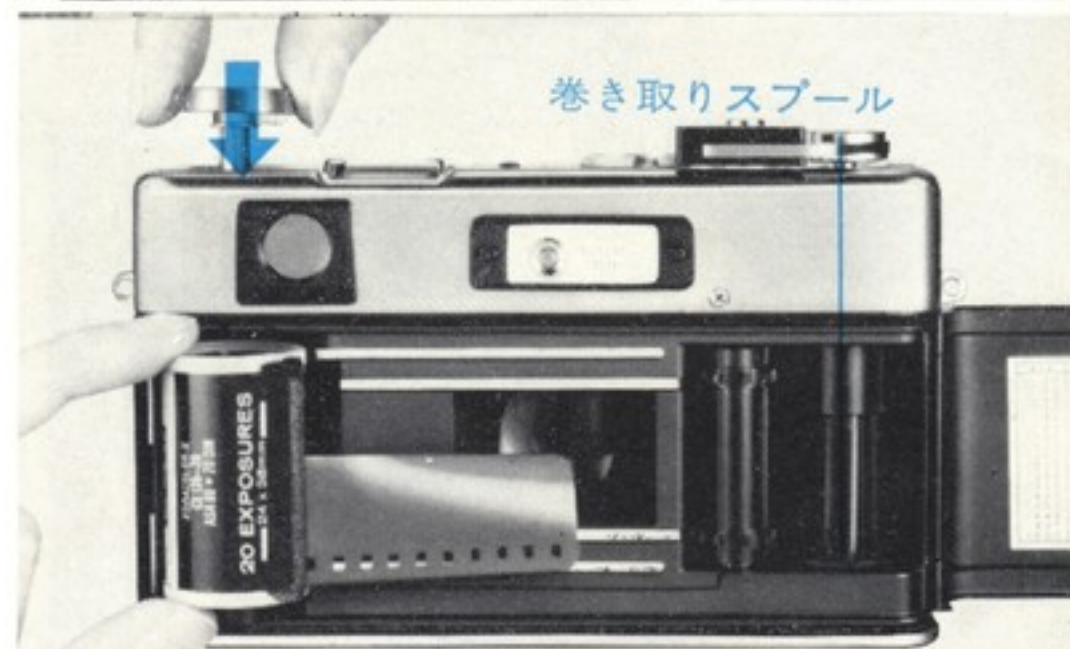
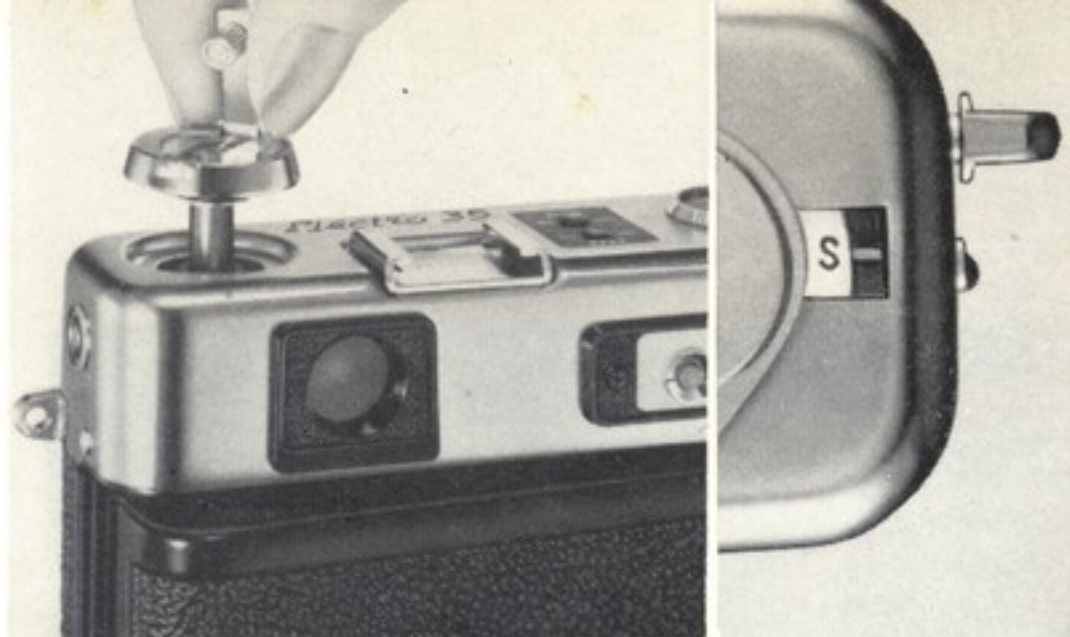
## フィルムの入れ方

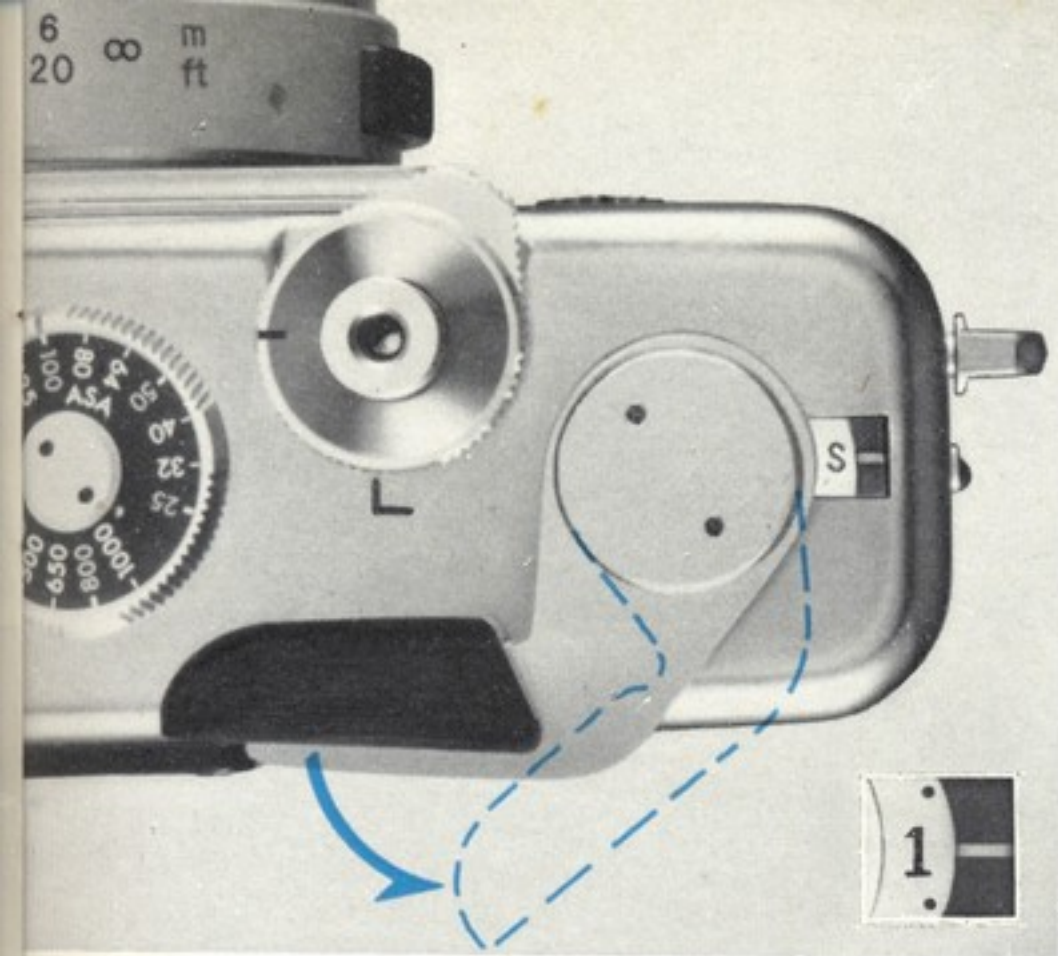
**1.** 裏蓋開閉ノブ(フィルム巻戻しノブ)を引き上げると、裏蓋が開きます。開くと同時にフィルム枚数計は、自動的にS(スタート)になります。

**2.** フィルム室にフィルムパトローネを入れ、裏蓋開閉ノブ(フィルム巻戻しノブ)を押し下げます。フィルムの先端を巻取りスプールのみぞに差し込んでください。

**3.** 巻上げレバーをまわし、静かに巻上げながら、フィルムの穴(パーフォレーション)がスプロケットの歯と正しくかみ合うのを確認して、蓋を開めます。

注意：フィルムを入れるときは直射日光をさけてください。

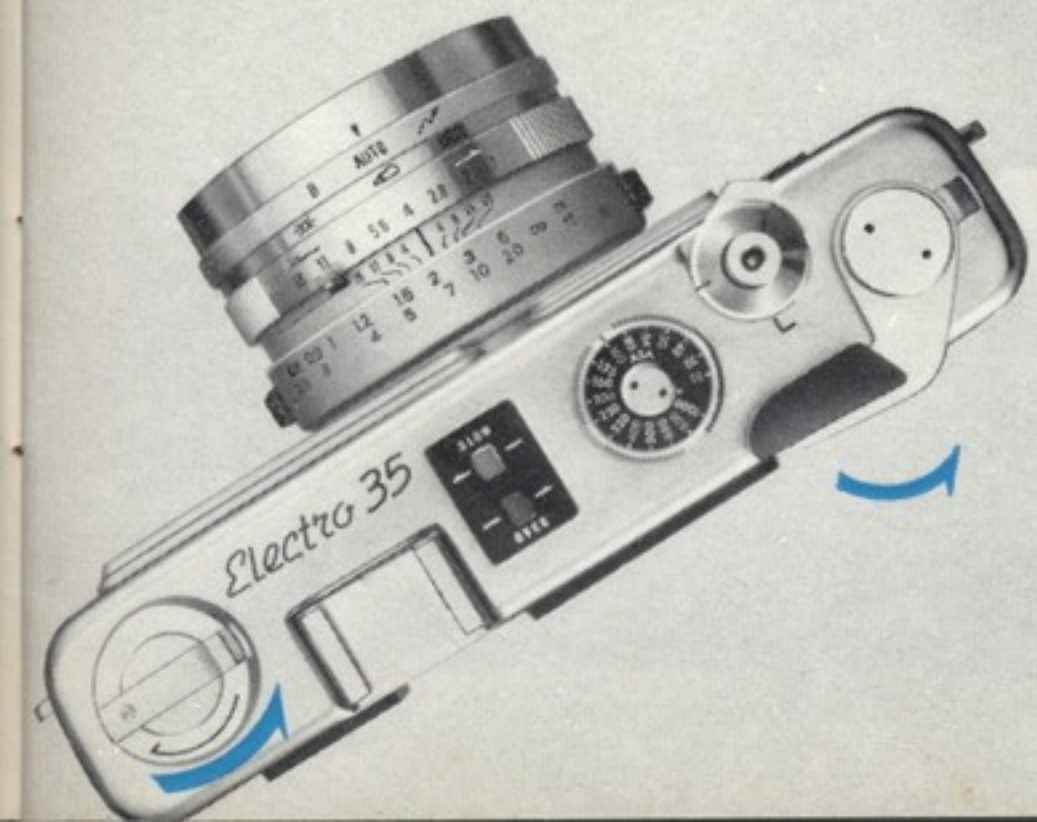




4. フィルム枚数計がSから1になるまで空写しをしてください。1から撮影スタートです。写した枚数は自動的に表示されます。

#### 撮影途中での、フィルム送り確認は

巻上げレバーを巻いたとき、巻戻しノブが回ればフィルムは正しく送られています。フィルム巻上げレバーは、必ず止まる場所までしっかり巻上げてください。



## フィルムの巻戻し

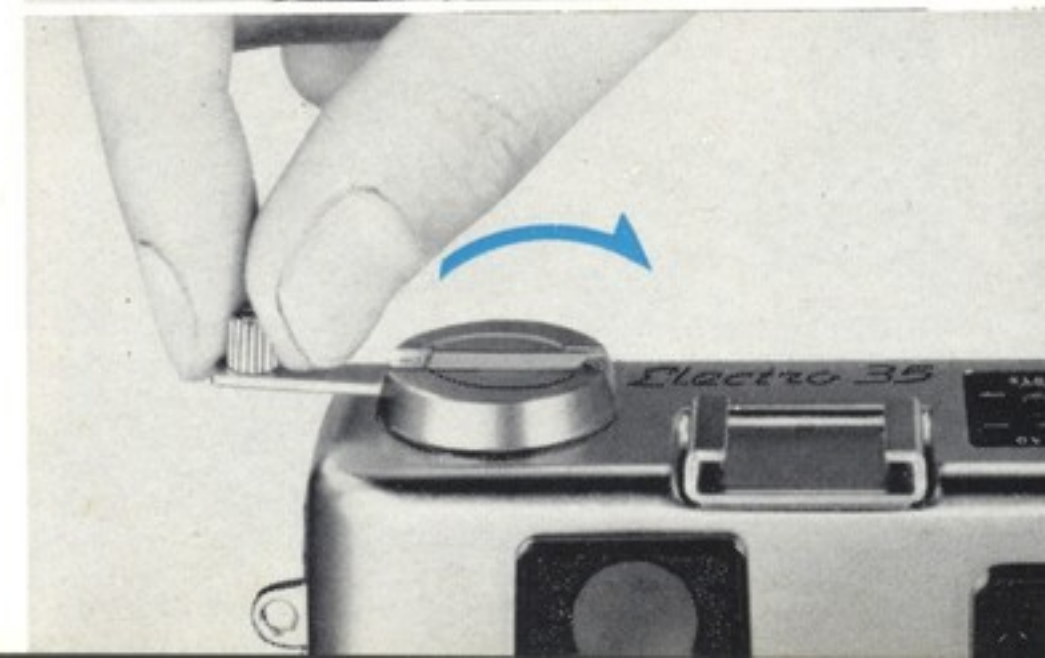
**1.** フィルム枚数計が20(36枚撮りなら36)になったらフィルムが終りになったのです。これ以上無理に巻上げると、巻戻しができなくなります。

35ミリは、写したフィルムを、必ずカメラの中でパトローネに巻戻してから、取り出します。

**2.** カメラ底部のフィルム巻戻し用ボタンを押してください。ボタンは自動解除ですから、巻戻し中押している必要はありません。巻上げレバーを巻くと自動的に復元します。

- フィルムが途中で巻けなくなったときは、必ず巻きもどしボタンを押して、巻きもどしてください。

**3.** 巻戻しノブのクランクを起こして、矢印方向に回します。フィルムがスプールからはずれるとき抵抗を感じますが、そのまま巻戻してください。抵抗感がなくなったら、裏蓋を開け、パトローネを取り出します。





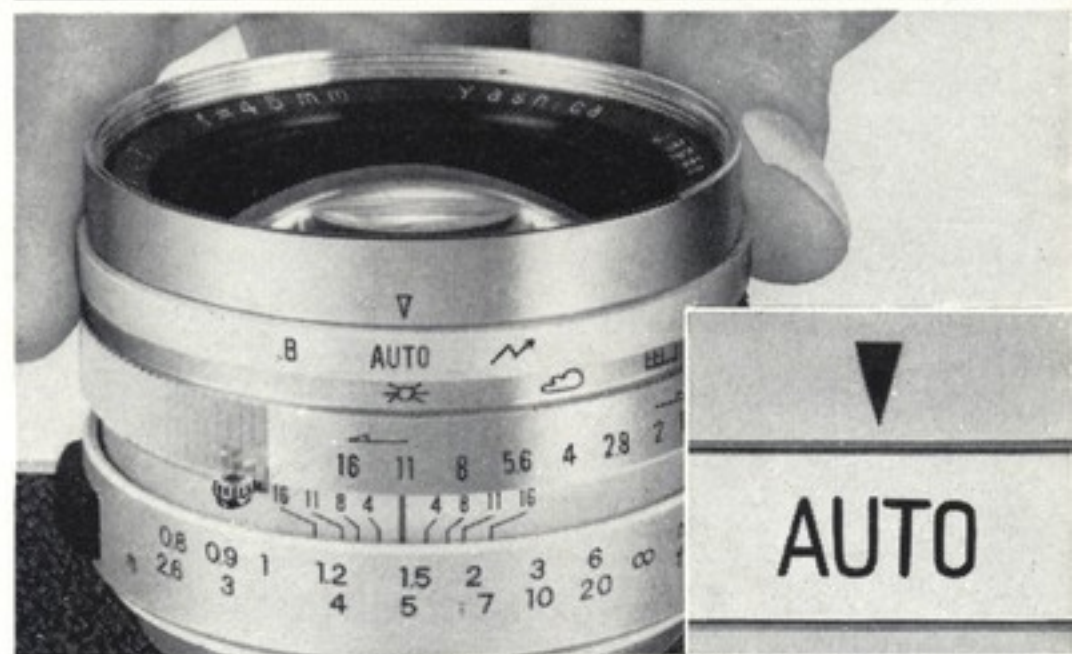
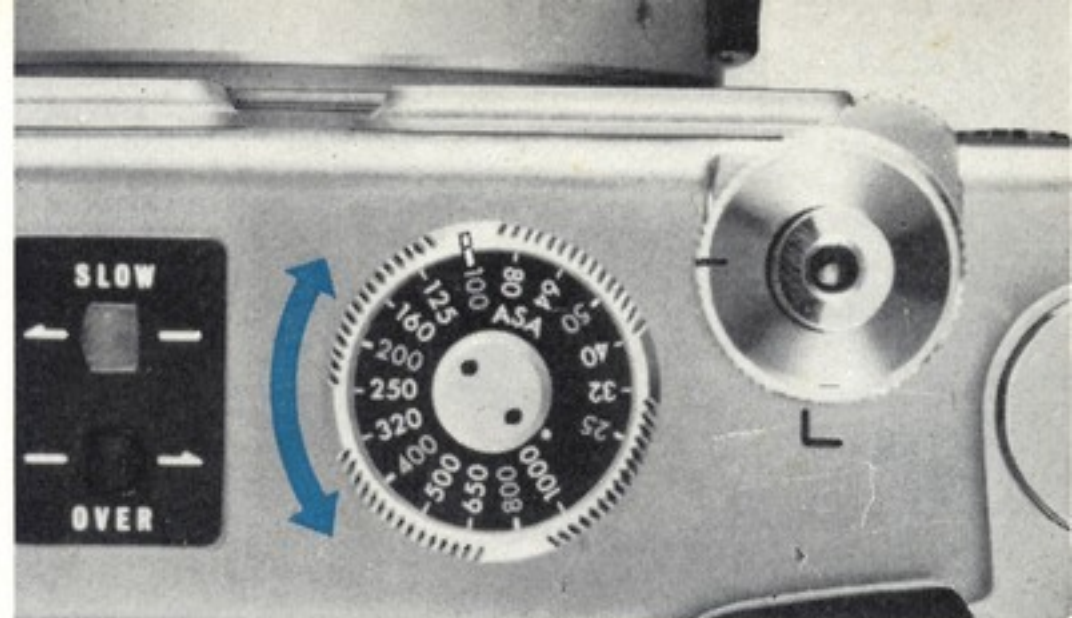
●ポートレート エレクトロ35 自動撮影

## 露出のきめ方

1. ASA 感度表示のリングを回し、使用フィルムの感度数に一印(赤)を合わせます。
2. オートリングをまわしAUTO(オート)を▼印にあわせるだけで、すべての撮影が自動的にできます。
3. つぎに絞りリングをまわし、撮影条件に合ったお天気マーク(ライトマーク)を合わせます。

●カメラに貼ってある固定用オートシールはそのまま貼がさずにお使いください。

☀	直射日光下の屋外撮影の場合	16・11・8
☁	曇天、または日陰の場合	5.6・4・2.8
☑	室内撮影または夜の場合	2・1.7





**4.** フィルム巻上げレバーを巻くと、フィルムが送られ、同時にカチッと音がして露出機構が始動する状態になります。

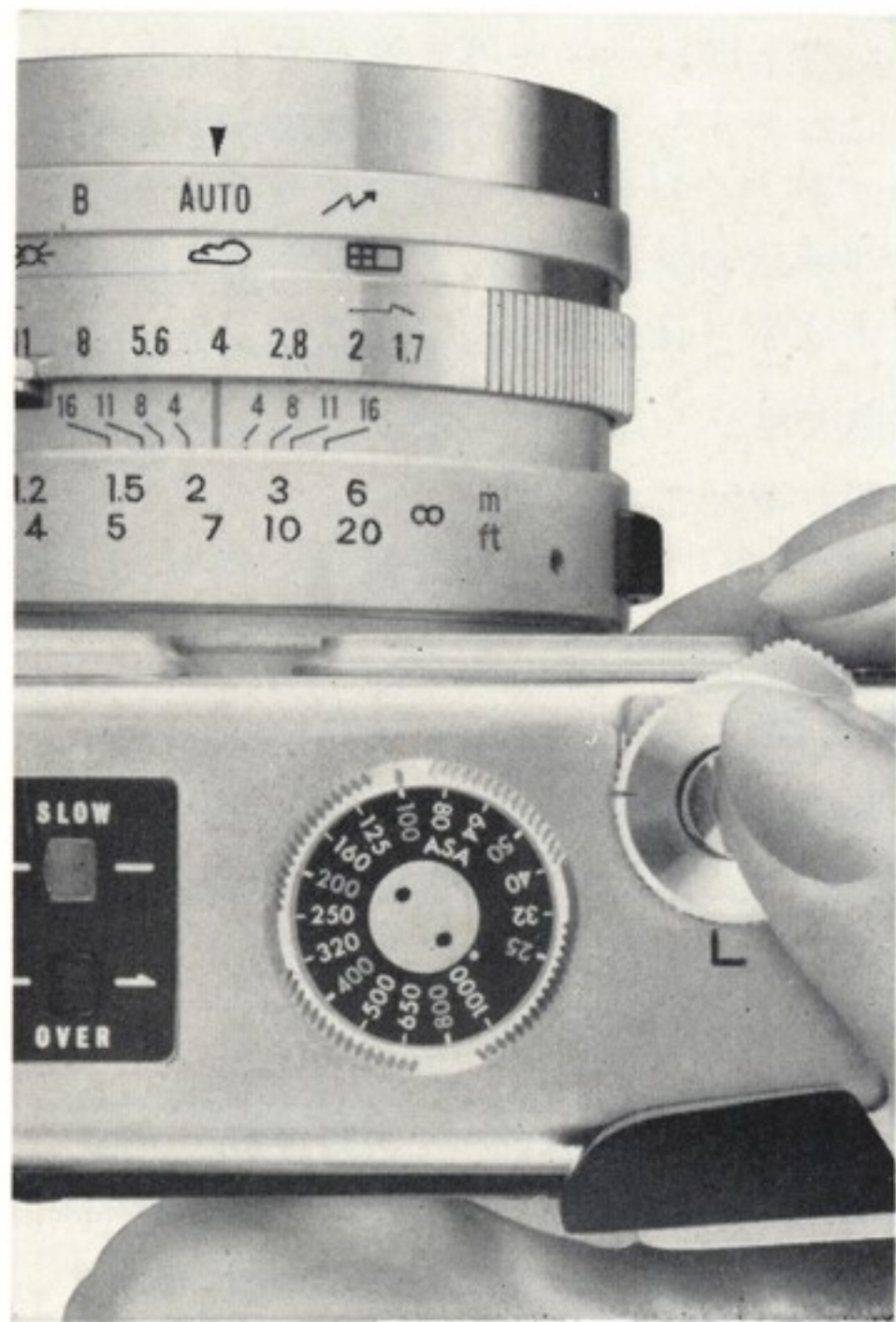
**5.** ファインダーをのぞき、シャッターボタンを軽く押します。チェックランプの赤矢印がつかなければ、適正露出です。シャッターボタンはそのまま、止まるまで押し下げてください。

### ASA 感度とは

フィルムが光に感じる度合いを数字であらわしたものがASA感度で、フィルムの外箱が説明書に必ず表示されています。

### 注意

フィルムを巻上げたままでカメラをしまうときには、ロックリングをまわして(一印を)Lに合わせます。シャッターボタンはロックされ安全です。



## 露出のチェック

チェックランプは、ボディ上部にも、ファインダー内にも点灯されます。

シャッターボタンは二段に作用するようになっており、最初にかかるく半分くらい押すと、露出チェックの機構が働き、さらに深く押すとシャッターが切れるようになっています。

### 1. チェックランプがつかないとき

シャッターボタンを軽く押したとき、露出チェックランプの赤矢印がつかなければ、露出が正しく合っているのです。そのまま撮影してください。

- シャッターボタンは止まるまで押し下げてください。

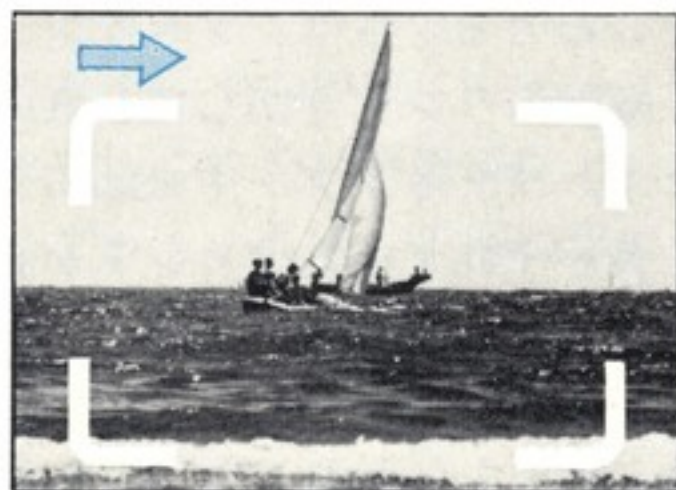




## 2. 黄ランプがつくとき

$\frac{1}{30}$ 秒よりもおそいシャッターで切れるという表示です。

夜や室内でのカラー撮影では、ほとんどこの状態になります。そのまま三脚または適当な台の上に乗せてカメラを固定し、撮影してください。また、どうしても手持でとりたいときは、なるべく絞りリングを黄色い矢印方向に回して撮影します。



## 3. 赤ランプがつくとき

赤ランプ(OVER)は露出オーバー(明るすぎ)の警告です。

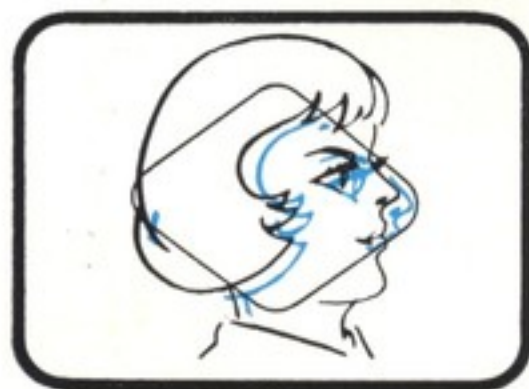
絞りリングを赤い矢印方向に、ランプが消えるまで回してください。赤が消えたら撮影できます。絞りリングを回しきってもランプが消えないときは、NDフィルター4倍(光量制限用)をかけASA感度を $\frac{1}{4}$ に切りかえて撮影してください(A S A 100のときはには25に合わせなおします。)

## ピントの合わせ方

ピントを合わせるときは、ファインダーを正しくのぞき、距離調節リングを回して、真中の二重像を合致させます。ファインダー中央部の、明かるい菱形の中で、像がずれていればピントが合っていないわけで、これが一つに見えるときは、ピントが合っているのです。

## フレームの使い方

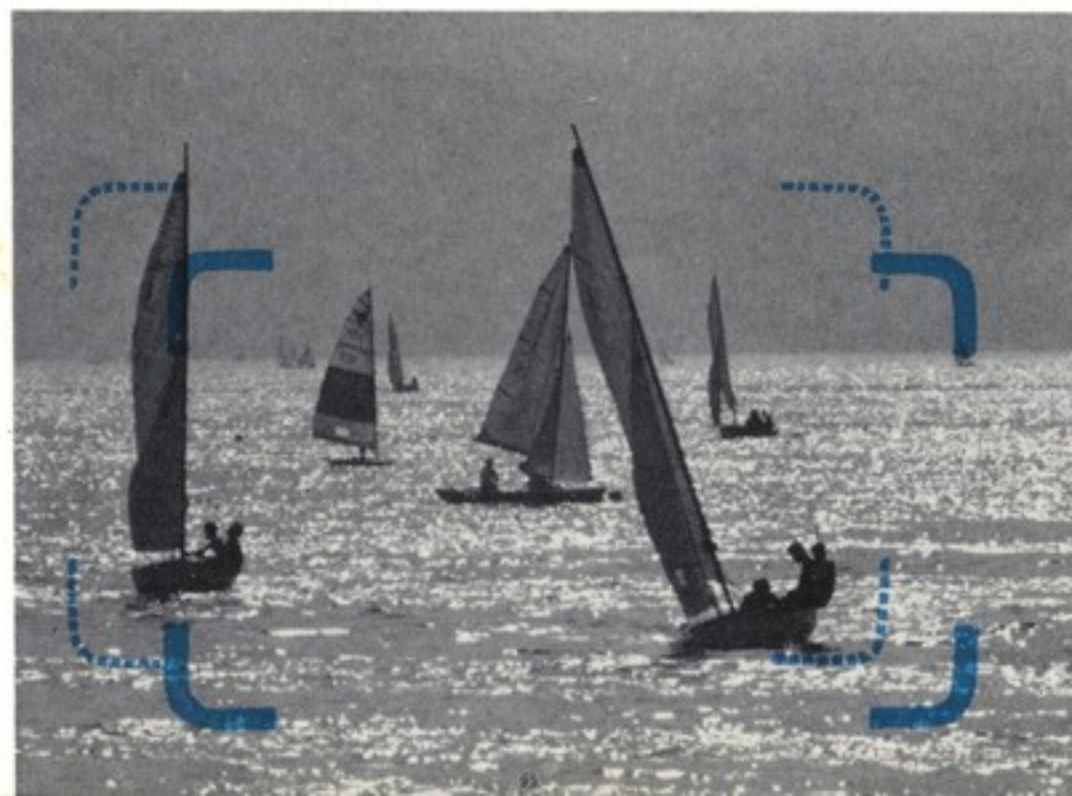
ファインダーの中に見えるブライトフレームに囲まれた範囲が、実際に撮影される画面です。フレームは距離調節に応じて自動的に移動し、視差（ファインダーで見る像と、レンズを通してフィルムに達する像とのずれ）を修正してくれるので、フレームの中で構図を決めれば、写したいものが写ってないといった失敗はありません。

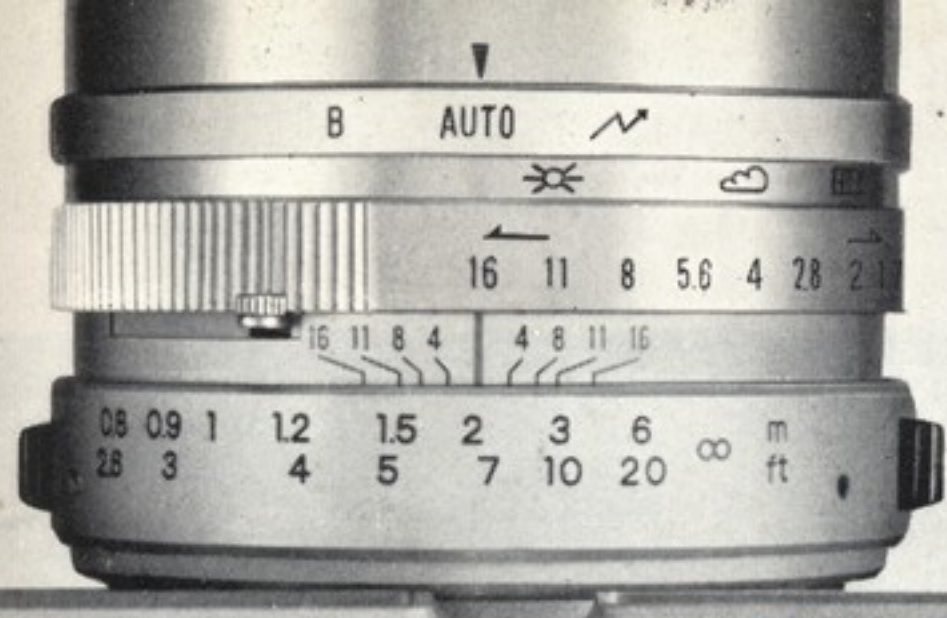


ピントが合っていないとき



あっているとき





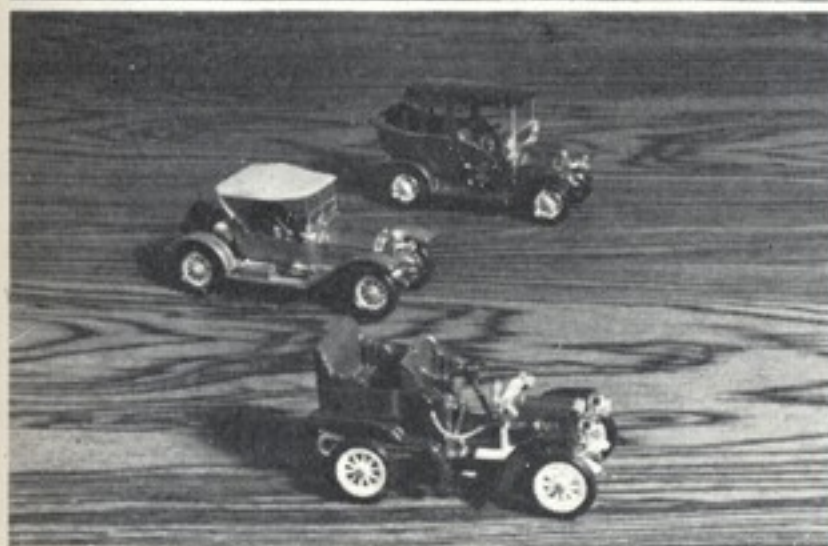
## 被写界深度とは

ある被写体にピントを合わせたとき、そのものが鮮明に写るだけでなく、その前後にも実用上鮮明に写る範囲があります。これを被写界深度といいます。上の写真は、いずれもいちばん手前の車にピントを合わせてあります。F1.7の開放状態ではボケている後方の車が、F16に絞ると非常にシャープに写っています。このように、深く絞るほど実用上鮮明に写る範囲が大きくなる（被写界深度が深くなる）のです。

被写界深度はレンズ鏡胴の深度目盛で知ることができます。例えば、合わせたピントが2メートルのとき、絞りがF16なら、赤指標の両側の16の数字と対応する距離—約1.4~5メートルの範囲にピントが合っているのです。



絞りF 1.7



絞り F 16

## ASAダイヤルで露出調節

光源のある方角から撮影するのを順光撮影といいます。写すものに光りが平均してあたり、色のバランスもよく、美しい写真がとれます。

順光撮影は基本ですが、どうしても逆光で撮りたいときや、フィルターを使って撮影するときは、ASA感度表示盤を加減することによって、露出の調節をします。

### ●強いスポットライトが当たっている舞台撮影

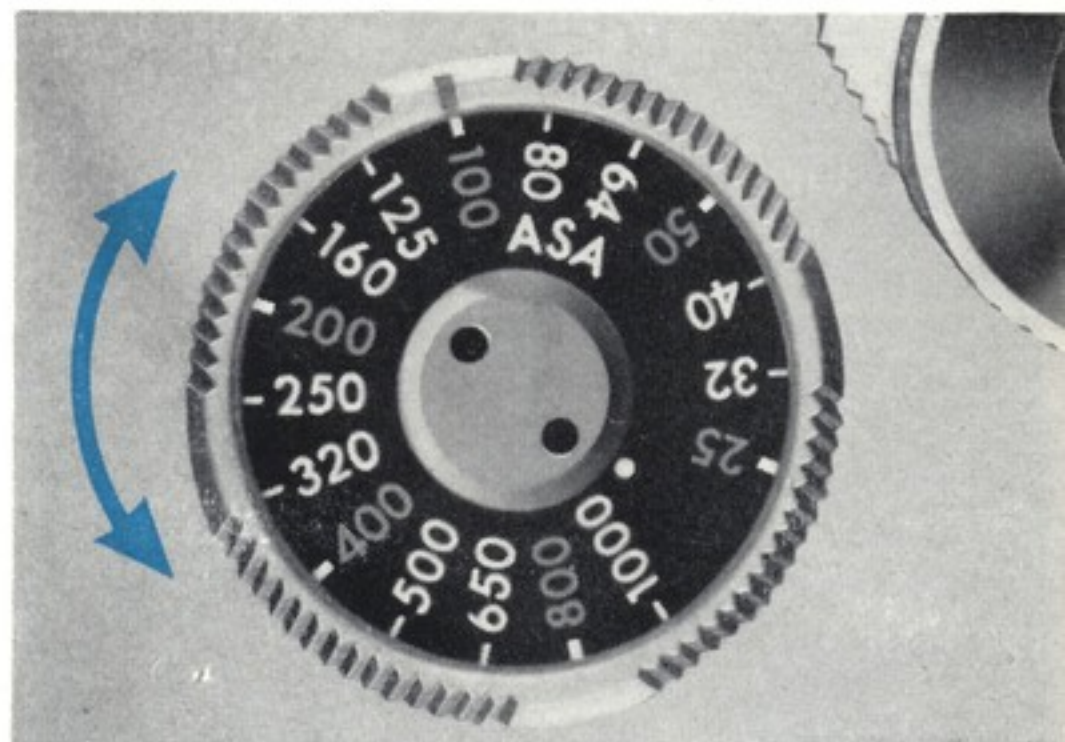
ASA 100のフィルムを基準にした場合、ASA感度を200～400に上げることにより、露出調節することができます。

### ●逆光撮影の場合

どうしても手前が暗くおちますので、ASA感度を50または25に下げて露出をかけることにより、暗部をすくうことができます。

### ●強烈な雪景色や海岸の光の中では

ASA 100のフィルムを基準にした場合、ASA感度を160～200に上げることにより、露出調節することができます。



順光撮影



逆光撮影

フィルターを使用したときは、フィルターに表示されている露出倍数（ $Y_2$ なら2倍）だけ露出を変えなければなりません。ASA 100で $Y_2$ フィルターを使うとしたら、倍率は2倍ですから、ASAダイヤルを50にセットしなおして撮影します。

**UVフィルター：**紫外線をカットして明快な画面を作るフィルターでカラー、モノクロ撮影に使用でき、露出倍数がないのでレンズ保護にも適した常用フィルターです。

**$Y_2$ フィルター：**黑白写真撮影に使用するもので、画面にコントラストが付き明快な画面をつくります。高原、海辺、雲などの撮影に使うと効果的です。

**1Aフィルター：**カラー撮影の際画面が青味がかかるのでこれをカットするものです。露出倍数なし。

**82Aフィルター：**カラー撮影の際晴れた日の早朝夕方は画面が黄味をおびるものですがこれをカットするために使用するものです。

**ND4フィルター：**光量が多すぎるとき、絞りをあけて使うときなどに使用するものです。光量を $\frac{1}{4}$ におとすため露光倍数は4倍です。

**80Bフィルター：**濃青せ昼光用（ディライトタイプ）フィルムで室内人工撮影に使用します。

## フラッシュ撮影

エレクトロ35はほとんどフラッシュ撮影する必要はありませんが、暗い所で動きの早いものを撮影するときや、コントラストの強すぎる被写体を、調和のある光の階調でとらえたいときなどは、フラッシュを使ってください。

フラッシュガン、またはストロボをアクセサリシューにセットし、カメラのフラッシュターミナルにガンのコードをさしこみます。





フラッシュ撮影のときは、オートリングを回してメ印にセットします。そうすればシャッター速度は自動的に $\frac{1}{30}$ 秒にセットされます。エレクトロ35の接点はX接点ですから、ストロボ、閃光電球のどちらでも使うことができます。

フラッシュ撮影では、被写体にピントを合わせて、その時のカメラの距離目盛によって被写体までの距離を知り、その距離で閃光電球のガイドナンバーを割った数が適正絞りになりますから、絞りをそこにセットして撮影します。

### ヤシカライトAG-D

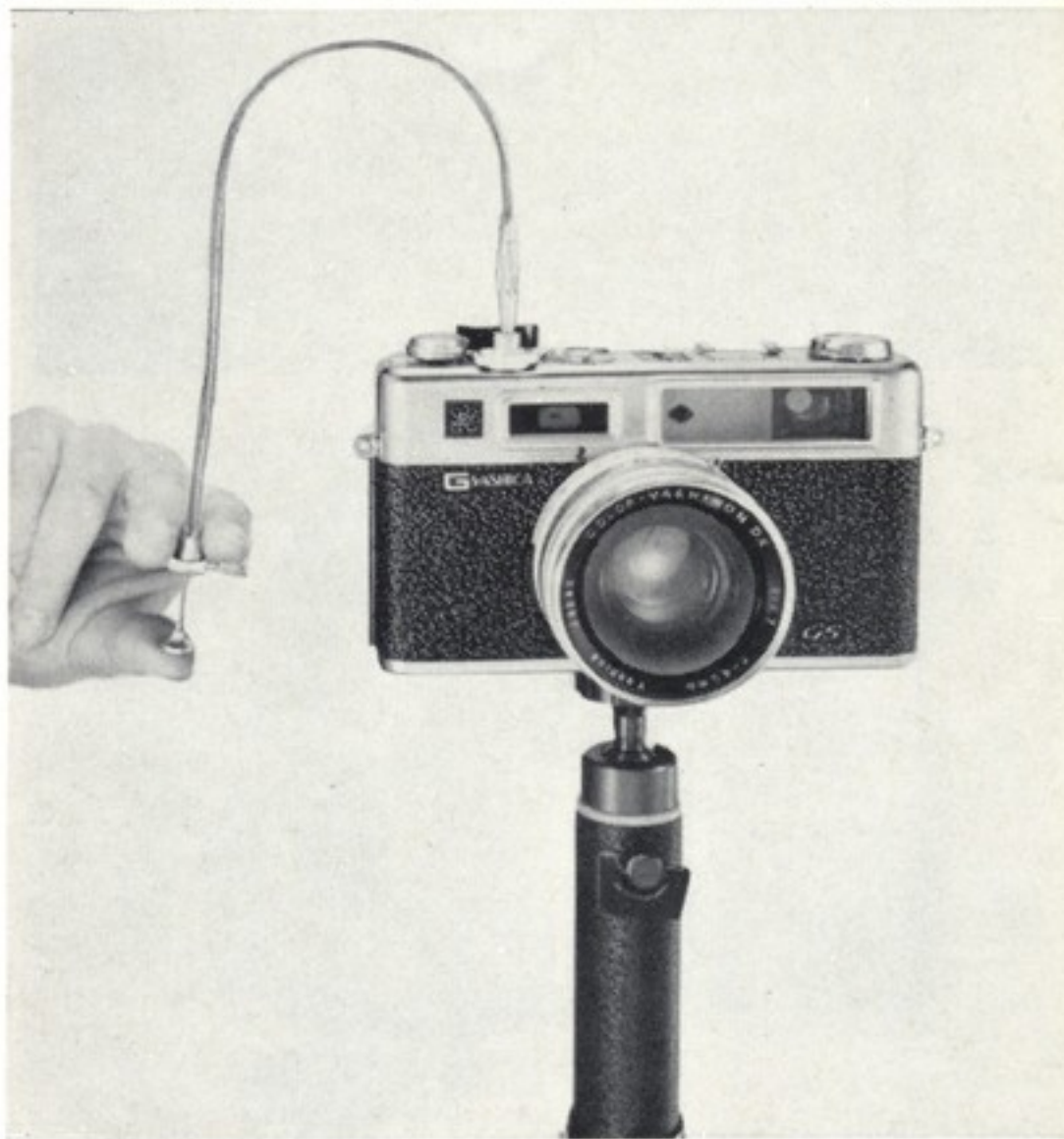
フラッシュ撮影にはヤシカライトAG-Dをお使いください。前ふたをはずしてコードを出せば、普通のガンと同じように使用できる便利なものです。

¥ 1,400

## バルブ撮影

オートリングをB(バルブ)にセットすると、シャッターボタンを押している間だけシャッターが開いています。エレクトロ35の自動露出は30秒という長時間までできるので、バルブ撮影の機会は少ないわけですが、天体や花火などの長時間露出では、バルブで撮影をします。

バルブ撮影や、手持ち撮影不能のときは、カメラを三脚に固定するか、適当な台の上において、レリーズを使ってください。カメラぶれをふせぎ、シャープな映像が得られます。







### バルブ撮影

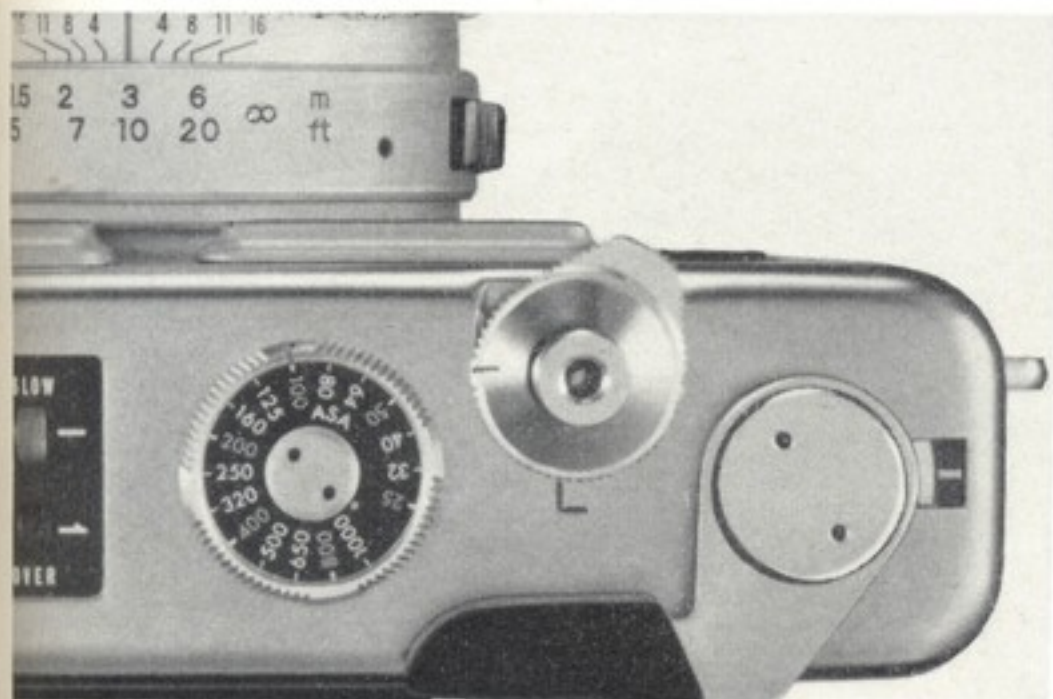
レンズ面を手でおおい、  
多重露出させたもの。

## セルフタイマーの使い方

自分で自分の写真を撮りたいときはセルフタイマーを使います。レンズ鏡胴にあるセルフタイマーレバーを下方に押しさげてセットし、シャッターボタンを押しさげてセットし、シャッターボタンを押すと7～8秒で自動的にシャッターが切れますから、その間に、あらかじめピントを合わせておいた位置へ移って、自分を写すことができます。

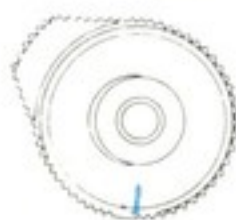
もちろん、シャッターボタンを押す前に、フィルム巻上げレバーを巻いてシャッターをセットしておかないと、セルフタイマーは作動しません。





## ロックリング

シャッターボタンのところにロックリングがついています。ロックにしておけば、シャッターボタンは押しても動きません。撮影をしないときや、カメラをしまっておくときは、必ずロックにしておく習慣をつけてください。ロックリングを回して、Lに合わせればロックされます。



L



L

## ケースの止めネジ

ケースの止めネジは操作しやすくするため、大きくしてあります。

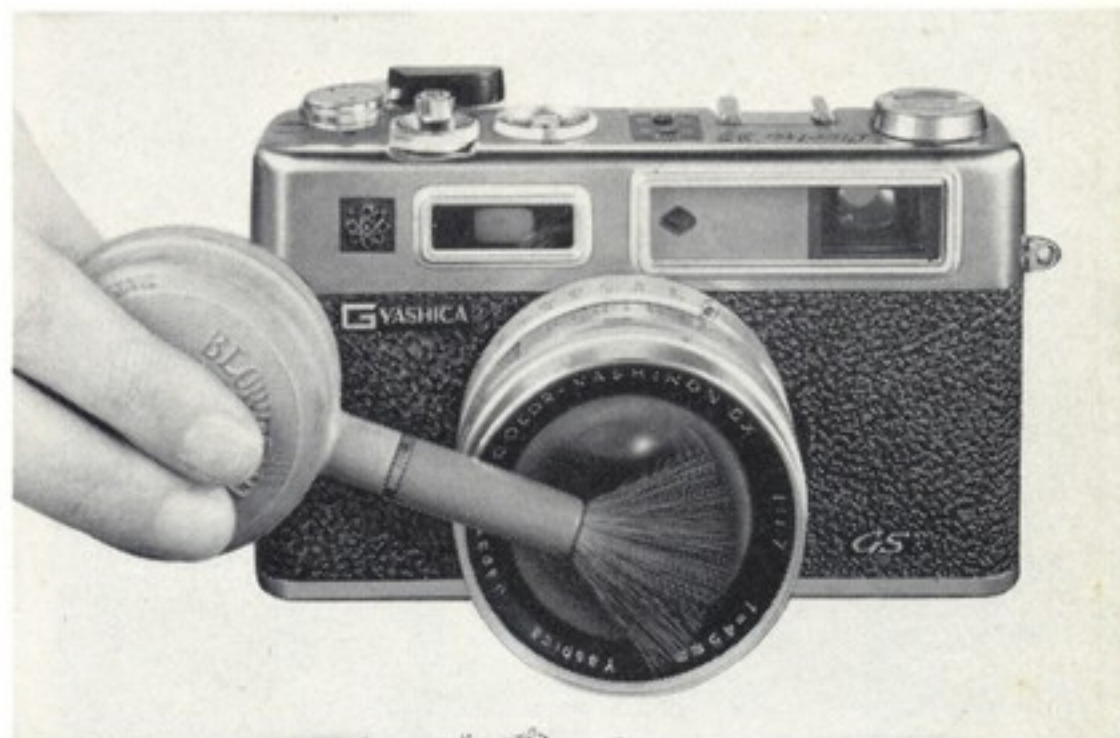
ヤシカグリップ三脚をお使いになる場合、ネジを締めすぎて取れなくなったときは、三脚の脚をとり出して、図のようにケース止めネジの溝に脚をさしこみ、グリップ三脚を左に回わせば、かんたんにはずれます。

## カメラの手入れ

- カメラは熱い場所（夏の浜辺、直射日光下に停車した自動車の車内、トランク等）にながく放置しますと、熱のためフィルムの感度、電池、カメラの電気系統に影響を及ぼし、正しい露出が得られないことがあります。熱い場所にながく放置しないよう注意してください。万一カメラが熱くなったときは、気温程度にさがるのを待ってから使用してください。
- レンズは、ハンカチなどで拭かず、レンズブラシでかるくはらってください。
- カメラの狂う原因に、ショック、湿気、塩気などがあります。乱暴に扱わないように、手入れは十分に、長く愛用いただきたいものです。
- カメラを使わないときは、必ずシャッターを切っておいてください。

### ヤシカエレクトロ 35GS

現金正価    カメラ ¥27,000    ケース ¥2,500  
合 計 ¥29,500





ローマ カンツォーネレストラン エレクトロ35 自動撮影



★専用フィルター(ネジ込み55ミリ)  
黑白用 (UV・Y<sub>2</sub>) ¥1,000  
カラー用(1A・82A・80B) ¥1,150  
カラー・黑白共用(ND<sub>4</sub>) ¥1,000



★専用フード(カブセ57ミリ) ¥800  
★水銀電池 ¥480  
5.6V(ナショナルHM-4N)



★コンバージョンレンズ  
専用レンズセットで、標準  
レンズにネジ込むだけで、  
望遠の迫力と広角の雄大さ  
が思いのまま!  
望遠レンズ(F4・58.4ミリ)  
広角レンズ(F4・37.7ミリ)  
合計 ¥8,700



★専用オートアップレンズ  
エレクトロ35専用レンズで  
80~45cmの近接撮影ができ  
ます。人物・草花・昆虫の  
クローズアップは勿論のこと、  
書類の複写などに広く  
利用できます。 ¥4,300



★グリップ兼用三脚(ST-7)  
いま話題のグリップ三脚で  
胸や壁に当ててカメラを固  
定します。30秒もの長時間  
まで撮影ができるエレクト  
ロ35には、絶対に欠かせな  
い三脚です。 ¥2,850



フラッシュターミナル

ファインダー接眼部

バッテリー室カバー

バッテリーチェック

三脚取付用ネジ穴

スプロケット

フィルム巻戻し用ボタン

フィルム圧板

ASA・DIN換算板

ヤシカカメラに関する、ご質問及び修理に  
ついては下記へお問い合わせ下さい。

Ⓨ 株式会社 ヤシカ

本社	東京都渋谷区神宮前 6-27-8 〒150 ☎ 03-400-1411 (代)
諏訪工場	長野県諏訪郡下諏訪町 3-1-70 〒393 ☎ 02662-7-8881 (代)
相模原工場	神奈川県相模原市上鶴間 3-6-48 〒228 ☎ 0427-43-2211 (代)
ヤシカ商事株式会社	東京都渋谷区神宮前 6-27-8 〒150 ☎ 03-400-1411 (代)
大阪営業所	大阪市西区北堀江通 1-46 山田ビル 〒550 ☎ 06-532-2251 (代)
名古屋営業所	名古屋市中区錦 3-8-24 東袋町ビル 〒460 ☎ 052-961-0656 (代)
福岡営業所	福岡市須崎町 3-5 竹和ビル 〒812 ☎ 092-28-5749
札幌営業所	札幌市北三条西 2-1 〒060 ☎ 011-241-5866 (代)
仙台営業所	仙台市大町 2-14-23 橘ビル 〒980 ☎ 0222-22-7528
広島営業所	広島市大手町 3-5-3 野村ビル 〒730 ☎ 0822-43-7437
横浜営業所	横浜市中区万代町 2-2-3 座間ビル 〒232 ☎ 045-641-3333~4
新潟出張所	新潟市花園 1-6-13 マルヒロビル 〒950 ☎ 0252-44-3866
金沢出張所	金沢市春日町 8-12 永原ビル 〒920 ☎ 0762-52-5777
高松出張所	高松市末広町 1-2 〒760 ☎ 0878-51-2495